

「マリン・ハウス」通信

令和7年2月号

それぞれの節分の楽しみ方

2月3日、マリン・ハウスでは毎年恒例の節分イベントが開催されました。年男、年女の利用者様は、節分の主役として職員手作りの袴を身にまとい、邪気を払いその年の福を呼び込むべく、心を込めて豆を撒いていただきました。年男、年女以外の利用者の方も、「鬼は外！福は内！」と声を合わせ、参加者全員で楽しむことができました。

また、職員は鬼のお面をして登場。実はこの鬼のお面は、利用者様が日頃の創作活動で制作したもので、オリジナリティあふれるユニークなデザインに会場の空気は大いに盛り上がりしました。

昼食には、マリン・ハウス特製の大きな恵方巻きといなり寿司、さらに温かいお蕎麦が振る舞われ、参加者全員が美味



しい料理を楽しみました。ボリューム満点の恵方巻きを食べながら、これからの一年の幸福を皆さんで願い、和気あいあいと昼食を囲みました。食事でも節分のイベントをさらに盛り上げ、幸せな気分を感じるひとときとなりました。



フレンチ東金でも、大きな恵方巻とお蕎麦を食べ、今年の幸運やそれぞれの願いを祈願いたしました。

皆さん、「恵方巻は無言で食べきる」という習慣を分かっているのですが、大きな恵方巻にかぶりついた途端、「うわあ、大きい!」、「これ、美味しい!」など、思い思いの感想がつい口に出てしまうものです。そんな様子に、皆さん自然と笑顔と笑いが溢れ、楽しい節分のひとときとなりました。



バレンタインデー

2月14日はバレンタインデーです。以前は、恋人同士が想いを伝え合うイメージが強くありましたが、近年では友人や家族など、大切な人に感謝の気持ちを伝える機会としての意味合いも強くなっています。

マリン・ハウスでも、手作りのハートの花束を贈り合い、日頃の感謝を伝え合いました。大きなハートを囲んだ皆さんの柔らかな表情がとても印象的でした。また、職員



からも、皆さんへの日頃の感謝の気持ちを込めてお菓子を送らせて頂きました。

今年のバレンタインデーも、皆さんの笑顔と温かい気持ちに溢れた素敵なイベントとなりました。



避難訓練を行いました

たま工房では、地震を想定した避難、誘導の訓練を行いました。

地震が発生した際に大事なことは、自分の身の安全を確保することです。強い揺れや落下物から身を守るために、「まず低く」「頭を守り」「動かない」この3つの安全確保行動を身に付けられることを目的に訓練し、揺れがおさまってから安全な屋外へ避難しました。職員もそれぞれの役割を確認し、利用者様が慌てず、落ち着いて行動出来るよう声を掛けながら誘導することで、皆さん安全に避難することができていました。



地震は、「いつ」「どこで」起こるか予測することが困難な災害です。いざという時に備え、日頃の訓練、心構えが必要不可欠です。災害時に適切な行動がとれるよう、これからも定期的に訓練を実施してまいります。



大根の収穫

フレンチ九十九里では、昨年種を蒔いた五寸大根が大きく育ち、2月の初め頃から収穫を行っています。

とれた大根は、サイズや形も様々で、中には足のような形をしたものもありました。利用者の皆さんは、童話「大きなカブ」のように、「うんどこしょ!どっこいしょ!」と言いながら引っ張ったり、「スポッ!」と小気味良く引き抜ける感覚を楽しまれたりと、各々の楽しみ方をしながら、生き生きと参加されていました。収穫した大根は事業所での料理に活用され、皆さんで美味しくいただきました。



今後は春野菜や夏野菜の種蒔きを行い、季節にあった野菜の成長やその味を利用者の皆さんと共に楽しみたいと思います。



【お問い合わせ先】

自立支援センター マリン・ハウス
千葉県大網白里市南今泉 4832-7

TEL : 0475-77-1066

FAX : 0475-77-1067

MAIL: marinehouse@purple.plala.or.jp

随時見学・体験相談受け付け中!!

<https://wako99.com/>